# 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	川内秀之 実務経験と その関連資格	医師として病院に勤務			

# 《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。

# 《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)で評価する。

## 《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院

からだがみえる(人体の構造と機能)メディックメディア

# 《授業外における学習方法》

予習・復習を行う

## 《履修に当たっての留意点》

解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
╽॑ॢऻ∄	講義	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理子ソー カブッカ	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
	形式	各コマに おける 授業予定	1. 身体の指示と運動① 骨格・関節・筋について		
第 2	講義	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理子ソー カブ ハカ	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行
	形式	各コマに おける 授業予定	2. 身体の指示と運動② 体幹の骨格と筋 頭預部の骨格と筋	人体模型 AV機器	う。
日高し刑	諸 通	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
	形式	各コマに おける 授業予定	3. 身体の指示と運動③ 上肢の骨格と筋(1)	クノック 人体模型 AV機器	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
回   <del>〕</del>	形式	各コマに おける 授業予定	4. 身体の指示と運動④ 上肢の骨格と筋(2)	人体模型 AV機器	
第 5	講義	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
□□□	形式	各コマに おける 授業予定	5. 身体の指示と運動⑤ 下肢の骨格と筋(1)	人体模型 AV機器	

授業の 方法			内 容		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	式おける	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
		各コマに おける 授業予定	6. 身体の指示と運動⑥ 下肢の骨格と筋(2)	人体模型 AV機器	
第 7	講義	授業を 通じての 到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行
同	形式	各コマに おける 授業予定	7. 身体の指示と運動⑦ 筋の収縮	人体模型 AV機器	う。 -
第 8	講義	授業を 通じての 到達目標	腎臓の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う
同日	形式	各コマに おける 授業予定	8. 腎臓の構造と機能	人体模型 AV機器	っ。 確認テストまたは小レ ポート
第 9	第一議 通じ 到達	授業を 通じての 到達目標	糸球体の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
同日	形式	各コマに おける 授業予定	9. 糸球体の構造と機能	人体模型 AV機器	か。 確認テストまたは小レ ポート
那 10 回	形式 おお	授業を 通じての 到達目標	尿細管の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行
		各コマに おける 授業予定	10. 尿細管の構造と機能	人体模型 AV機器	が 確認テストまたは小レ ポート
第	講義	授業を 通じての 到達目標	男性・女性生殖器の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
	形式	各コマに おける 授業予定	11. 男性・女性生殖器の構造と機能	人体模型 AV機器	っ 確認テストまたは小レ ポート
第 12	講義	授業を 通じての 到達目標	受精と胎児の発生 成長と老化について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
	形式	各コマに おける 授業予定	12. 受精と胎児の発生 成長と老化	人体模型 AV機器	か 確認テストまたは小レ ポート
第 13	講義形式	授業を 通じての 到達目標	眼の構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行
回		各コマに おける 授業予定	13. 眼の構造	クノック 人体模型 AV機器	う。 確認テストまたは小レ ポート
第 14 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	耳の構造 鼻の構造 舌の構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
		各コマに おける 授業予定	14. 耳の構造 鼻の構造 舌の構造	クノック 人体模型 AV機器	プ。 確認テストまたは小レ ポート
第 15	講義	授業を 通じての 到達目標	皮膚の組織構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワー クブック	解剖生理学ワークブック を用いて予習・復習を行 う。
	形式	各コマに おける 授業予定	15. 皮膚の組織構造	クノック 人体模型 AV機器	ん 確認テストまたは小レ ポート